

(1/26 月 7:30)

相次ぐ差別的言動で批判を受ける自民党の杉田水脈衆院議員＝写真＝は、メディア側から開催を求める声が出ていた記者会見に關し、今後も感じない考え方を明らかにした。24日のX(旧ツイッター)投稿文に書き込んだ理由の一つとして、自身の発言をメディアが切り取って報道するからだととの認識を示した。

自分の意に沿わないメディアによる会見質問や批判報道を警戒し、公の場での対外説明を拒んだ形。一方で杉田氏は、同氏に好意的な保守系のユーチューブ番組への出演などを通じ、自らの主張を發信し続けている。国会議員の説明責任の在り方に

杉田氏 今後も会見拒否

「メディアは発言切り取る」



照らし、議論を呼びそうだ。

投稿で杉田氏は、メディアの対応を「報道する時は切り取り」と軽く表し、会見拒否理由に挙げた。「切り取り」は、主にインターネットで用いられる表現で、一部の保守系ユーザーが好んで使う。

会見中の記者の取材姿勢も取り上げて「欲しい答えが出るまで質問を続ける」と指摘。「（会見）時間を区切ると『逃げた』と書いて非難する」と不満を表したほか、「わざわざ」とい表情の写真を使つ」と訴えた。今後はXやブログ、ユーチューブなどを通じて「説明責任を果たす」とした。